

【高等学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立有田工業高等学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で様々な取り組みにおいて変更実施を余儀なくされた。そのような中ではあったが、実施できる方法を探り、積極的な取り組みが実り、当該年度の重点目標である進路保障、学力向上について目標値を達成することができた。 ・学校独自の重点取組である地域との連携については、課題研究等を中心に、地元小中学校への陶芸交流、地域の農家の皆様との商品パッケージの開発、医師会への手作りフェイスシールドの寄贈など多くの取り組みを実現し、地域との関わり合いを深めることができた。 ・次年度は新たなプロジェクトとして、地域みらい留学プロジェクトを本格的にスタートしていく。次世代を担う人材を全国から募集し、地域の協力を得ながら、町と学校が共に活気づく基盤づくりを展開していきたい。
------------------	---

2 学校教育目標	勉情 「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立型人間の育成
----------	------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>挨拶、服装、マナー指導の徹底と思いやりのある心の醸成</p> <p>進路実現に繋がる学力向上と資格取得の推進</p> <p>保護者、地域、産業界との連携強化と特色ある教育及び、働き方改革の推進</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	○(学校独自重点取組) ・学習習慣の定着と基礎学力の向上	○(学校独自成果指標) ・基礎力テストの年間全体平均を7.0点以上。不合格者数昨年度比-40%。	・作問担当者、正副担任、各科との協力体制の強化。 ・不合格者の追跡調査、効果的な指導。							・教務部 ・各学年
	○(学校独自重点取組・任意) ・資格検定取得の奨励	◎(学校独自成果指標・任意) ・ジュニアマイスター認定50名、校内表彰20名以上を目指す。	・顕彰制度、表彰制度を生徒・保護者・職員へ周知させる。 ・資格取得、コンクール参加を奨励、補習体制の充実 ・朝読書の実施、図書館便りの発行、図書館のレイアウト変更、生徒の希望に添った選書により、図書館利用を促し、資格取得、進路保障につなげる。							・進路指導部 ・工務・情報部 ・各学年 ・図書視聴覚
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○(学校独自成果指標) ・「生命を尊重する心や献血への協力の大切さがわかった」と回答した生徒90%以上 ・ボランティア活動参加者のルーブリック評価平均3以上	・外部講師による性に関する講話及び献血セミナーを実施する。 ・年3回(各学期毎)の学校周辺清掃活動ボランティアの実施							・保健指導部 ・生徒会 ・工務・情報
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。 ・いじめアンケートを年6回以上実施する。							・生徒指導 ・工業科 ・各学年
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上	・生活状況調査の実施 ・心身の健康の保持増進に必要な情報を保健だより、食育だよりで発信する。							・保健指導部
	○(学校独自重点取組・任意) ・運動部活動の活性化 ・体力の向上	○(学校独自成果指標・任意) ・運動部加入率49%以上 ・県ベスト4以上の実績 ・校内マラソン男子30km3時間以内70名以上、女子10km1時間30分以内60名以上	・部活動紹介、HP部活動ニュースの充実 ・体育文化奨励費運用見直し ・体育の授業で体力を高める運動の実施とマラソン練習期間の延長							・生徒会
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・週1回の定時退勤日を設定し、時間外に勤務している職員への聞き取りを行う。また、全職員が年休消化日数を設定する。 ・会議資料の事前配布により時間短縮を図る。 ・職員間の意思疎通と報告・連絡・相談を徹底し、互いに助け合う環境を整える。							・管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組・任意) ・地域と連携して高校の魅力高める取組を推進する。	○生徒自身が地域貢献を通して、意識がどのように変化したかをルーブリック評価を行うことで分かる。平均3以上を目標とする。	・情報交換会やチーム会議の充実 ・うちやま百貨店にてワークショップや展示 ・各科課題研究を通して地域貢献 ・有工ふるさとオープン検定の実施 ・有工マラソンへの支援要請							・工務・情報部 ・総務部 ・工業科

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
--------------------	--